

通し番号	3829
------	------

分類番号	13・7B・22・05
------	-------------

(成果情報名) 平成12年度採卵鶏の経済検定試験	
<p>[要約] デカルブTX35(TX)、ジュリア、イサ・ホワイト(ホワイト)・ローラ、ボリス・ブラウン(ボリス)の採卵鶏5銘柄の検定を実施した。育成率はジュリア、ボリスが100%と良好であった。20週齢体重は赤玉鶏のボリスが重かった。0~20週齢の飼料摂取量は体重の重いボリスが多かった。産卵率はジュリアが高かった(P&lt;0.05)。平均卵重はホワイトがやゝ軽く、銘柄差は2.0gであった。日産卵量はジュリアが有意(P&lt;0.05)に高かった。飼料摂取量はホワイトが少なく、銘柄間の差は約5gであった。飼料要求率はジュリアが2.08と優れた。生存率はボリスがやゝ高かった。ハウユニットはホワイトが有意(P&lt;0.05)に優れ、卵殻強度はジュリアが優れた。</p>	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

本県の採卵養鶏にふさわしいと考えられる鶏種について、それらの特質と能力を明確にして、養鶏農家における鶏種選定の指針を示すために本試験を実施した。今回はウインドウレス育成舎、開放ケージ成鶏舎で検討した。

[成果の内容・特徴]

- 1 デカルブTX35(TX)、ジュリア、イサ・ホワイト(ホワイト)・ローラ、ボリス・ブラウン(ボリス)の5銘柄の検定を実施した。
- 2 産卵性能で産卵率はジュリアが高かった(P<0.05)。平均卵重はホワイトがやゝ軽く、銘柄差は2.0gであった。日産卵量はジュリアが有意(P<0.05)に高かった。飼料摂取量はホワイトが少なく、銘柄間の差は約5gであった。飼料要求率はジュリアが2.08と優れた。生存率はボリスがやゝ高かった。
- 3 卵質のハウユニットはホワイトが有意(P<0.05)に優れ、卵殻強度はジュリアが優れた。
- 4 収益は非規格卵価でも規格卵価でもジュリアが有意に優れた。

[成果の活用面・留意点]

- 1 銘柄の特徴(産卵性、卵質、粒先等)を熟考して、それぞれの販売方式に適合した銘柄選定により経営向上が期待できる。

[ 具体的データ ]

表 平成12年度採卵鶏の経済検定試験育成期・成鶏期・卵質の成績 (0~80週齢)

鶏種		デカブ	ジュリア	イサ	ローラ	ホリス
		TX35 (TX)		ホワイト (ホワイト)		フランク (ホリス)
項目						
育成期	育成率 %	99.0	100.0	96.0	99.0	100.0
	20週齢体重 g	1578 <sup>b</sup>	1527 <sup>b</sup>	1468 <sup>a</sup>	1579 <sup>b</sup>	1802 <sup>c</sup>
	飼料摂取量 g	7835	7340	7350	7536	8033
50%産卵到達日齢 日		138.8 <sup>c</sup>	136.3 <sup>a b</sup>	138.3 <sup>b c</sup>	134.8 <sup>a</sup>	137.8 <sup>b c</sup>
成鶏期	産卵率 %	86.2 <sup>b</sup>	88.7 <sup>c</sup>	85.3 <sup>b</sup>	82.7 <sup>a</sup>	85.2 <sup>b</sup>
	平均卵重 g	63.3 <sup>a b</sup>	64.1 <sup>b</sup>	62.4 <sup>a</sup>	64.4 <sup>b</sup>	64.4 <sup>b</sup>
	日産卵量 g	54.5 <sup>a</sup>	56.7 <sup>b</sup>	53.1 <sup>a</sup>	53.0 <sup>a</sup>	54.6 <sup>a</sup>
	飼料摂取量 g/日	115.0	118.1	113.2	114.1	117.5
	飼料要求率	2.11	2.08	2.13	2.15	2.15
	生存率 %	92.9	91.9	90.7	92.7	95.0
卵質	ハウユニット	76.73 <sup>a</sup>	80.98 <sup>b</sup>	84.41 <sup>c</sup>	79.15 <sup>a b</sup>	80.47 <sup>b</sup>
	卵殻強度 kg	3.36 <sup>a</sup>	3.98 <sup>b</sup>	3.42 <sup>a</sup>	3.69 <sup>a b</sup>	3.52 <sup>a</sup>
	卵殻厚 mm	0.341 <sup>a</sup>	0.357 <sup>c</sup>	0.356 <sup>c</sup>	0.344 <sup>a b</sup>	0.352 <sup>b c</sup>
	比重	1.0791	1.0808	1.0822	1.0800	1.0815
	卵殻重 g	6.02	6.18	6.04	6.03	6.07
	卵殻比率 %	8.89 <sup>a</sup>	9.21 <sup>b</sup>	9.28 <sup>b</sup>	8.89 <sup>a</sup>	9.05 <sup>a b</sup>
	血斑 %	1.25	3.12	1.88	0.78	0.63
肉斑 %	0.63 <sup>A</sup>	0.63 <sup>A</sup>	1.25 <sup>A</sup>	0.00 <sup>A</sup>	30.00 <sup>B</sup>	
収益	非規格卵価 円	951 <sup>a</sup>	1050 <sup>b</sup>	924 <sup>a</sup>	896 <sup>a</sup>	922 <sup>a</sup>
	規格卵価 円	1180 <sup>a b</sup>	1267 <sup>b</sup>	1170 <sup>a b</sup>	1071 <sup>a</sup>	1136 <sup>a</sup>

育成期は0~20週齢、成鶏期は20~80週齢、卵質は34~78週齢の8回の平均  
異符号間に有意差あり、小文字(P<0.05)、大文字(P<0.01)

[ 資料名 ] 平成13年度試験研究成績書(繁殖工学、養鶏)

[ 研究課題名 ] 平成12年度採卵鶏の経済検定試験

[ 研究期間 ] 平成12~13年度

[ 研究者担当名 ] 岸井誠男・引地宏二